

経営比較分析表（令和5年度決算）

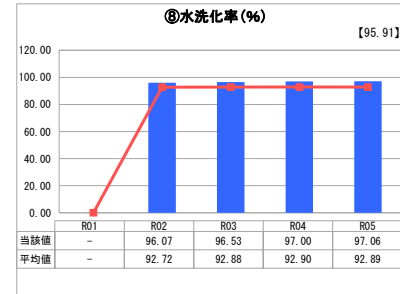
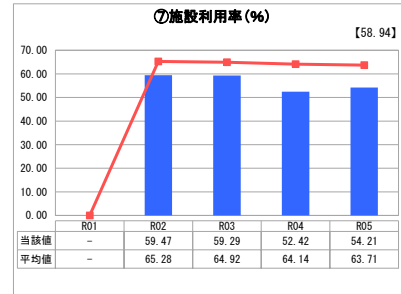
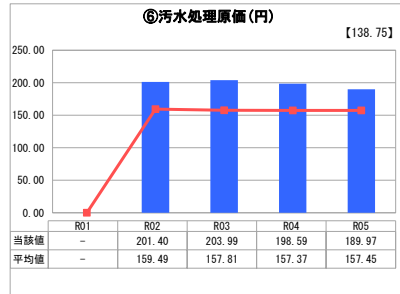
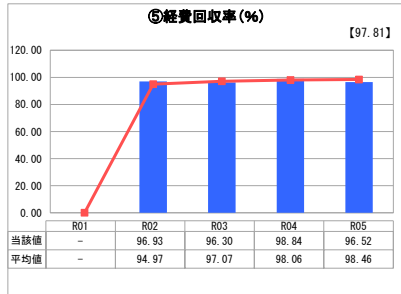
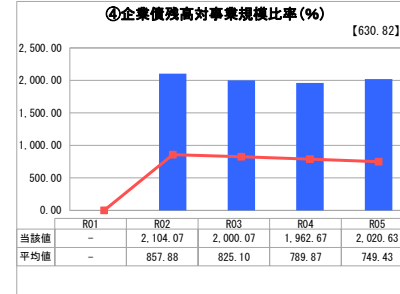
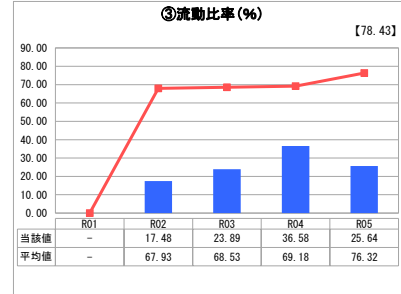
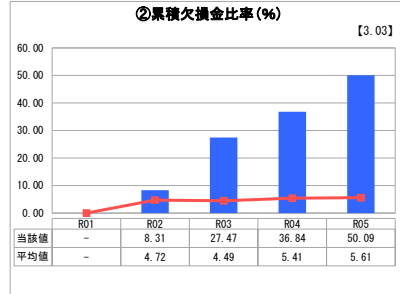
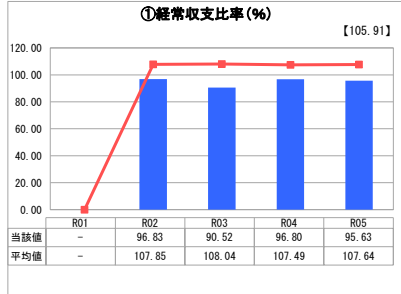
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	44.66	63.54	87.87	3,300

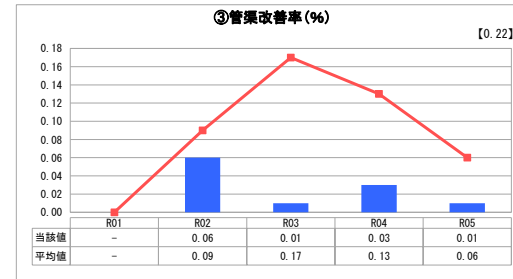
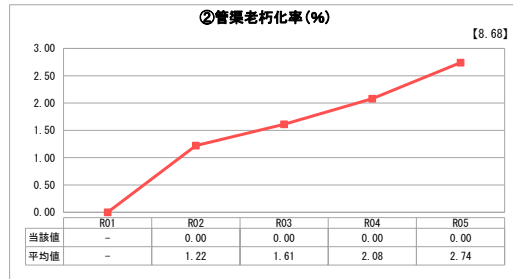
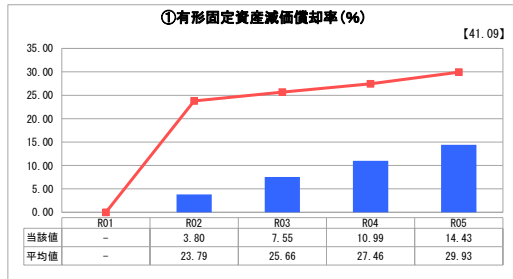
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,475	487.60	236.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
72,995	17.88	4,082.49

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、下水道使用料の減少により悪化しており、依然として100%を下回っている。
- ② 累積欠損比率は、下水道使用料等の収益が減少したため欠損金が発生し悪化している。
- ③ 流動比率は、下水道使用料等の収益が減少したため、現金が減少し悪化している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高は減少したが、下水道使用料の減少が影響し悪化している。
- ⑤ 経費回収率は、汚水処理原価が減少したが、下水道使用料の減少が大きいため悪化している。
- ⑥ 汚水処理原価は、有収水量が減少したが、汚水処理費の減額が大きいため減少した。
- ⑦ 施設利用率については、晴天時の1日平均処理水量が増加したため改善されたが、依然として施設の余力が大きく平均値を下回っている。
- ⑧ 水洗化率については、人口の流入等もあり、わずかではあるが増加している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率については、減価償却費の増加により、約3%程度の増加となった。類似団体と比べても、まだそれほど高くない数値といえる。
- ② 管渠老朽化率については、耐用年数に達した管がないため0%となっている。
- ③ 管渠改善率については、管渠の補修に関する工事が減少したため、令和4年度より低い数値となっている。

全体総括

○人口減少等による下水道使用料の減少が著しく、財政状況の悪化に大きく影響している。累積欠損金が年々増加している状況であることや経費回収率が100%を下回っているため、費用の削減に努めるとともに、料金改定の検討が必要である。

○動力費及び労務単価の上昇などによる施設の維持管理費が増加しており、合理化を図るため、他事業の一部を公共下水道に繋ぎこむ計画を立てている。これにより、施設利用率の改善や、下水道使用料が増加することで経費回収率等の改善が見込まれる。

○長寿命化計画に基づき更新工事を随時行っているが、資金が減少しているため、予防保全が行えない機器が一定数みられる。急な故障による多額の修繕に備えるためにも、内部留保の確保も必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。